



進もう 次の一世紀へ

～新しい時代に向けて結束を～

大正15年に箕面学園尋常小学校を設立した時は1年生から6年生まで児童138名が在校し

愛を感じました。

私編纂に関わらせて頂き学園の歴史に触れる事ができ、改めて100年の重みと先人の方の学園を支援をさせて頂き発刊する事になりました。

2025年4月10日、箕面自由学園は創立100周年を迎えました。



桂門会
45期 西村勝正会長

ていました。実は雲雀丘の山の上にあった雲雀丘学園小学校が大正14年に廃校となり当学園が児童を受入れました。昭和25年に現在の雲雀丘学園が開校しました。また戦時中は大手門小学校の前身である偕行社附属小学校児童の疎開を受入れて共に勉強した記録もありました。学園は様々な関わりを持ちながら歩んで来ましたが、小学校の児童が母校である学園の歴史を学ぶ事はとても大切な事だと思

います。若い方々は学園を懐かしむ余裕はなかなか持てないと思いますが、私位の年齢になると鮮明に記憶がよみがえり懐かし

思います。

卒業生の皆様も懐かし気持ちになれば学園にお帰り下さい。生徒たちの笑顔が待っています。何より元気をもらえます。桂門会150年、200年に向かって『ひとすじの流れ』のように学園と共に歩んでいきたいと思

います。若い方々は学園を懐かしむ余裕はなかなか持てないと思いますが、私位の年齢になると鮮明に記憶がよみがえり懐かし



桂門会報

箕面自由学園 同窓会

豊中市宮山町4-21-1
箕面自由学園桂門会
広報委員会

TEL 06-6852-8110 (学園内)

FAX 06-6147-7337

<https://www.mino-jiyu.jp/>

mjg-dosokai@cap.ocn.ne.jp

郵便振替口座 00920-2-2458

創立100周年

桂門会記念パーティー

日 時：2025年11月29日(土)

15時～18時 (受付14時30分から)

場 所：宝塚ホテル 兵庫県宝塚市栄町1丁目1番33号

参加費：一般 5,000円 学生 2,500円 どちらでもご参加いただけます。

JR宝塚駅より徒歩約7分
阪急宝塚駅より徒歩約4分



駅からの
詳しい道順は
こちらから

◆申込方法◆

参加をご希望の方は、右のQRコードまたは同封のハガキにて、**9月30日まで**にお知らせ下さい。(ハガキの場合は、お手数ですが**85円切手を貼って**ご投函ください)
申込みがQRコードの方はメールで、ハガキの方は郵送で、お振込先などの詳細をご案内いたします。**ご入金の確認をもって申し込み確定**とさせていただきます。なお、会場の都合により先着順とさせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。

QRコードから
お申し込み
できます



学園の進化は止まらない



23期 平井 宏
前理事長

私は、1943年に本校小学校に入学し、1955年に高等学校を卒業するまで12年間に本校でお世話になりました。また、2006年から理事、専務理事を勤め、2014年から2022年に退任するまで理事長を8年間勤めました。その間、2009年には、高等学校の入学者が238名と近年の最低を記録し、当時の吉田校長（本校卒業生で、私の8年後輩）と大いに悩みました。当時は経営的に縮小均衡の方向にありましたが、私は拡大均衡の道をたどらなければ、本校の未来はないと考えていましたので、吉田校長とは考え方に差はなく、ただ具体的にどうするかで、日々議論を重ねました。生徒数を増やすには、入試の偏差値を低くすれば良いのですが、それでは生徒の質が低下します。そこで偏差値を低くすることと併せて、（礼儀作法の指導を厳しくする）（特進コースを設ける）の2点を新しく取り入れました。特進コースをつくって京大、阪大などの旧7帝大に

入れるには、誰が教えるかが課題となりますので、当時数学で定評のあった中川先生に入校して頂きました。翌年の入学人数は450名となりましたが、実績が皆無の特進コースは18名で阪大への合格者を出すのに5年かかりました。吉田校長には、教員への考え方の徹底など、本当にお世話になりました。また2016年に吉田校長が退任後、吉田校長もご同意の上で校長をお引き受け頂いた田中校長は、まさに熱意の人で現在の本校の繁栄は、この人抜きでは語れません。生徒は、（挨拶をする）（人にやさしい）（決められたルールは守る）をモットーに、一人ひとりが個性を伸ばし、また、経営層は、財務の健全化と人事の活性化を常に考えて、日々進化の止まらない筑面自由学園を目指して頂きたいと、心から願っています。



62期生 仲川 朗

動物と向き合う日々

学園での思い出を胸に

高校時代、私は創部間もない吹奏楽部に所属していました。まだ部員も少なく、楽器を手にして間もないメンバーもいたため顧問の米田先生、福里先生とともに試行錯誤の連続で一から音を作り上げていく日々でした。放課後に音楽室で仲間と音

を重ねる時間は、今でもとてもいい思い出です。その年、アメリカカンファットボール部が全国大会で見事日本一に輝き、私たち吹奏楽部も応援に駆けつけました。初めて訪れる東京ドームでチャリダーと共に少しでも選手達の背中を押せ

吉田先生 感謝 感謝 感謝

先生、自由学園も100周年を迎えることとなりました。

吉田忍先生が、小・中・高校と生徒時代を過ごされた自由学園。そして、教師として校長として70歳まで勤められた自由学園。生徒・教師・校長、どの時代が吉田忍のベスト？あえて愚問を投げかけてみました。

「情熱」、事あるごとに吉田先生から発せられた言葉です。私の人生の中でこの言葉が一番似合う人でした。

生徒が大好きで、自由学園が大好きで、それだけを貫いて突き進まれた吉田先生。

「頑張った結果は本人の努力」と、お礼の言葉すら受け付

けないひたすら黒子に徹する先生でした。

でも、今日は言わせて下さい。「みんなの気持ち」を伝えさせて下さい。

感謝、感謝、感謝、言い尽くすことのできない感謝の気持ち

を心を天国の吉田先生へ届けさせて下さい。



31期 吉田忍先生

生方が、時には笑顔で、時には厳しい顔をして、時には頭を空っぽにして登っています。

（47期 藤谷昇吾）

◆◆◆◆◆

援を送り続けました。

あれから時が経ち、今では吹奏楽部は全国大会の常連校に成長し、同時期に創部されたチャリディング部も世界レベルで活躍していると聞き、驚きとともに深い感動を覚えます。あのときの小さな一歩が、後輩たちによってここまで大きく育まれてきたことに、また胸が熱くなります。

卒業後は獣医学の道に進むため生まれ育った大阪を離れ北海道にて勉学に励みました。現在は学園近くの筑面市で動物病院を開業しています。

往診などで学校の近くを通る際は丘を見上げて懐かしい気持ちになります。

日々、動物たちと向き合いながら、人と動物の関係の中にある優しさや信頼に触れ、学生時代に学んだ「支え合うこと」「一つの目標に向かう喜び」が、今も自分の根っこにあることを実感しています。

こうして同窓会誌を通じてあの頃を思い出すことができるのは、とてもありがたいことです。そして、どこかでまた皆さんと再会し、笑顔で思い出を語り合える日が来ることを、心から楽しみにしています。

◆ ◆ ◆
同期会だより
◆ ◆ ◆

今年3月30日、現副校長の後藤彰俊先生の「古希を祝う」ゴルフコンペ、ならびにお祝い会を実施いたしました。後藤先生

がつないでくれた「輪」から派生し慕う者たちが、この日先生への深い感謝と、お祝いを伝える一日を過ごしました。趣味の音楽に勤しむ先生に、何気なくゴルフに誘った卒業生に心えるため、家にあつたパーシモンで参戦いただいたのが15年ほど前。2017年10月に開催されたMJG同窓会コン

ペをきっかけに正式に「510（後藤）会」が発足。この度の古希を祝う会は59回目の510会でもありました。これまでに、先生から紹介いただきながら増えていった卒業生達。社会に出た際の、厳しさ、人間関係の複雑さ、自己成長の必要性を目の当



時には得意な「ダジャレ」も発動。そんな後藤先生に触れる皆も学生時代に戻り大いにはしゃぎ幸せを実感しています。これからもいつまでも健康でいて楽しいラウンドを共にしてください！
(510会生徒一同)

祝退職 あつがやにて

3月吉日、柏原先生（私たちにとっては西田先生）のご退職祝い、母校にてミニ同窓会を開催。東京や名古屋から帰阪した同級生らと話に花を咲かせた。その当時、私たちの副担でもあった先生からも花束が届きました。



卒業してからも私たちが想い、見守ってくれた西田先生。これからは、私たちたちが恩返しをしていきます。感謝！
(74期 奥田)

最高の仲間たち

今年3月31日（月）。受験勉強を頑張って、1年後に会おうと言った昨年3月31日の同窓会から、あつという間のような長かったような1年。けれど会えば、兄弟姉妹のようにすぐに騒げる！何とも説明できない関係！LINEのグループ名も（やっぱ73期生最高！）

受験話、恋バナに、懺悔話にも花が咲き、気がつけば初めての芝のグラウンドで2時間もフラッグフットボールを汗だくになるまでやっていました。

ラストは、ベアーズグッズをかけて、ビンゴ大会。さあまたこれからそれぞれ新たなステージです。



最後は、先生の好きなことば「また、あつした」で締めくくります。
(93期 田中間人)

20歳を迎えた友よ

今年1月11日。箕面自由学園小学校を卒業して約8年。

6歳で出会った私たちは20歳。成人式を迎えていた。

「同窓会をしたい」数名からそんな声があがった。この8年、全員が会える事柄はなかったが、声をかければなんのなんの約半数の同級生と3名の先生が集まった。



久しぶりに集まるということもあり、緊張なくラフに集まれる会の形式を取ったが大正解。「誰や!!」「どんなことしてたの?」「こんなことあったよね」など、生徒も先生も関係なく、空白の8年の成長や小学校時代の思い出話に花を咲かせ、ご飯と催しの2時間に飽き足らず約5時間ひたすらに会を楽しんでいた。

学園で過ごした6年間は確かに私たちの人生の一部であったのだと実感する。

肩を組み笑いあえる素敵な仲間達、先生方、それぞれの道を辿りつつ、また会える日が来ることを楽しみにしながら。

を楽しみにしながら。
(91期 野中瑠々)

思いをお話の場

私たち中学71期生は、それぞれが大学受験という大きな試験を乗り越え、少し落ち着いた今年の1月13日に同窓会を開きました。

久しぶりの再会でしたが、開始直後から和気藹々とした空気に包まれ、気がつけば、あつという間の時間でした。当時の思い出や今それだけが歩んでいる道などについて語り合い、一人ひとりが笑顔で成長した姿をお世話になった先生方に見せることができました！

一生の仲間たち、そして大切な先生方との出会い、深い絆を育んだ私たちの母校である箕面自由学園は今年で創立100周年を迎えます。これからもそれぞれのゴールに向かって一歩ずつ前進していきます！
(91期 三宅絃貴)



伝統築いたクラブ活動

チア・吹奏楽・射撃・アメフト

クラブ活動は学校の顔であり香ります。全国に学園の名を轟かせたアメフト、チアリーダー、吹奏楽、射撃。半世紀以上にわたり脈々と続くクラブもあります。それぞれが川の流れるようです。小さな雫が集まり、やがて大河となりますが、それぞれ急流があり、激みがありました。創立100周年の節目に揺籃期から多くの部員と苦楽を共にした指導者たちにその思いを聞きました。



吹奏楽部の発足から創世期は苦勞が多かったのでは？
吹奏楽部は私が自由学園の教師となって間もない1993年に創部しました。当時はプレハブの音楽室で楽器も不足しており、自前で楽器を購入して生徒に貸

生徒の主体性を求めて

チアリーダー部 野田一江監督



チアリーダー部が誕生したのはアメフト部の台頭した1991年です。元々、チアリーディングは本場のアメリカでアメフトの応援が目的で誕生したもので、学園のアメフト部が全国の強豪となり、12月のクリスマスボウルに登場。日本一に輝きま

した。その応援にチアリーダー部の創設を、とアメフト部の監督だった富田先生が考えられ、当時音楽担当の新米教師であった私に白羽の矢が立ったのです。チアについては全くの素人で、とりあえず大学のアメフトの試合を見に行きました。チアの応援ぶりをビデオに撮って勉強しました。部の一期生は9人、一ツ下の二期生は5人、それでもピラミッドみたいな組み演技もやりました。

92年には関西大会に出場して

見様見真似からスタートしたマーチング

金賞の常連校に

吹奏楽部 顧問 福里大輔先生

し出したりで苦勞はしましたが、その後は楽器の寄付をいただいたり、コンクールに出るために不足している楽器を近隣の中学校からお貸しいただいたり、いろいろな方々にご協力をいただきながら頑張っておりました。先生の中で、一番印象に残った出来事は何でしょうか？

「徐々にですが力を付けて行く中で、大阪の大会等では金賞をいただけるようになり、2011年に初めて全日本マーチングコ

ンテストで金賞を獲得した時は、本当に嬉しかったですね。もう一つは、2019年に5回目の日本一となった後、コロナ禍で全日本マーチングコンテストが中止となるなど吹奏楽部も大変な時期ではありましたが、2022年に再び全日本で金賞を獲得した時は感動しましたし、普段の生活が送れるありがたさを実感しました。

「日本一のマーチングバンド発足のきっかけを教えてください」
福里先生の教師人生と共に歩んだ吹奏楽部ですが、今後の展

5位、翌93年に準優勝、といってもまだ参加校も少なかったですが、東京の大会に出場しましたが、全くの無名校扱いで「みのお」と読んでももらえず、冷ややかな目で見られました。

徐々に実力をつけて大会で実績をあげ、96年に高校選手権で初優勝してようやく全国的に認められました。私は非常勤で、アメリカのチアのユニフォーム会社で働いて、その傍らチアのコーチを続けていました。ですからアメリカからビデオを取り寄せたり、本社に会議で呼ばれ渡米した際にもアメフトの試合を観戦しチアの先端のテクニクを研究する環境がありました。ゴールデンベアーズに携わって35年。やはりチアリーディング

「私は中高は吹奏楽部、大学では声楽を専攻しており、オペラを歌っていました。その経験から、椅子に座って楽器を演奏するだけではなく、体も使って音楽を表現する事もおもしろいのではないかと思います。吹奏楽部が出来て間もない1995年にマーチングを始めました。ただ、私もマーチングの経験は無く、見様見真似からのスタートでも苦勞はしましたが、その後はコーチとして秦先生に教えていただき、力を付けて行きました」





常に挑戦者 礼儀 責任感 思いやりを育てる

箕面自由学園創立100周年という大きな節目に、卒業生として、そしてアメリカンフットボール部監督として同窓会報に寄稿の機会をいただけることを大変嬉しく思うとともに、長年にわたり学園を支えてくださったすべての皆様にご心より感謝申し上げます。

アメリカンフットボール部は1974年に創部し、昨年で50周年を迎えました。1991年には日本一となり、その輝かしい歴史は今も部の誇りです。当時小学生だった私は、その快挙に憧れて箕面自由学園に進学し、アメリカンフットボールに没頭する日々を過ごしました。創部者であり恩師でもある富田秀司先生のもと、基礎を徹底する厳しい練習に励みました。仲間



とともに苦しさも喜びも分かち合い、ぶつかり合いながら築いた絆は、今でも私の大切な宝物です。

創部当初からの「常に挑戦者」という精神を受け継ぎ、全国の強豪と戦い続けてきましたが初優勝以降、残念ながら日本一には届いていません。それでも全国大会出場や大阪・関西大会での上位進出を重ね、「箕面自由は強い」と言われる伝統を築いてきました。

現在は「二度目の日本一」を目標に掲げ、クリスマスボウル（高校日本一決定戦）に出場し、多くの学園関係者にスタンドで応援に来ていただけるような「応援されるチーム」になることを大きな目標に、日々練習に励んでいます。

指導者として大切にしているのは、勝利を目指す強い意志だけでなく、社会に貢献できる有為な人物の育成です。アメリカンフットボールは仲間を信じ、助け合い、ぶつかり合いながらも最後は一つになって勝利を目指すスポーツです。礼儀、責任感、思いやりを持ち、信頼される人材を育てることが、私たち指導者の役割だと考えています。

100周年を機に、これまでの伝統を大切に守りつつ、新たな歴史を部員たちとともに切り拓いて参ります。引き続き皆様の温かいご支援とご声援を心よりお願い申し上げます。

（アメフト部監督 71期 歳内直人）



旗を持っているのが浅水弘さん

60年続く 野球部に感激



初めて夏の高校野球大阪大会に出場したのは昭和39年（1964年）、東京オリンピックが開かれた年です。もう61年も前のことです。いまの体育館よりのところに小さなバックネットがありました。グラウンドは石ころだらけで革の硬球はすぐにポロポロになりました。

それでも野球の好きな生徒ばかりでした。中等部の野球部が5、6人と他校の野球部だった顔見知りの生徒がいてみんな10人ぐらいたが、とりあえ

ず同好会の形で立ち上げました。翌年、20人を超える1年生が入部し、高校野球連盟に加入できました。上下の厳しさはなく、みんな友達のように練習方法やバティングやバントなどを話し合ってたてて工夫していました。楽しい日々でした。

創立100周年の今年、大阪大会の開会式でキャプテンの中川君が選手宣誓をしました。そして初戦の2回戦で旭高に5-2で勝ちました。記念すべき節目の年にいい足跡を残してくれました。もう感激しかありません。60年の長きにわたり野球部を支えていただいた学園関係者、保護者の方々にここからの感謝を申し上げます。

（34期 浅水弘）

高校3年のインターハイは、今でも強く記憶に残っています。このメンバーなら団体でも入賞できると思っていましたが、全員が緊張してしまい、思うような結果を残すことができませんでした。



それでも、射撃部で過ごした3年間は本当にかげがえのない時間でした。先輩・同期・後輩、みんな個性豊かで面白い人たちばかりでしたが、特に同期の存在には何度も救われました。彼らがいたからこそ、辛いことも乗り越えられました。

毎年の学校合宿では、日常とは違う環境の中で多くを学び、人間的にも成長できたと思います。時には栗田先生から厳しく指導されることもありましたが、

そのすべてが今の自分を形作っていると感じています。

3年間すべてが濃密で、どれも印象深い出来事ばかりでしたが、特に印象に残っているのは、高校3年生に上がる直前の3月に開催された全国高等学校ライフル射撃選抜大会での出来事です。試合後、栗田先生が細かくスコアやアドバイスを書いてくださったメモをいただきました。

普段は口頭でアドバイスをいただくことが多かったのですが、このように文字で残していただくのは初めてで、とても新鮮に感じました。今でもそのときのことをよく覚えていますし、その紙は今も大切に保管しています。

（85期 花川直樹）

人間的に成長 思い出の3年間 射撃部



桂門会の公式LINE はじめました



右下のQRコードLINE友達追加で登録ができます。
桂門会の最新情報をご覧いただけます。
ご登録をお待ちしております。



桂門会費の納付をお願い致します

「終身会費30,000円」
「年会費2,000円」
18才未満及び75才以上は会費免除

- 終身会費 3万円をご納付いただきますと、以降、毎年の年会費の納付は不要になります。
 - 年会費 毎年ごと、2000円のご納付になります。
- 〈納入方法〉
お近くの郵便局から、下記の郵便振替口座に送金してください。

【送金先】郵便振替口座番号 00920-2-2458

口座名 箕面自由学園同窓会

桂門会報に同封している郵便振替用紙をお使いいただくと、振込手数料は不要です。

大学名	2025	2024
東京		1
京都	1	2
大阪	9	2
神戸	11	6
大阪公立	18	9
北海道	1	1
東北	1	1
国際教養	1	
筑波		2
東京科学		1
東京外国語	1	
東京農工	1	
横浜国立	1	
横浜国立		1
新潟	4	3
金沢	3	5
滋賀	5	3
滋賀県立	1	
京都工芸繊維		2
京都教育	3	
京都府立	1	1
京都市立芸術	1	2
大阪教育	4	2
兵庫県立	8	6
神戸市外国語	1	
奈良女子	1	2
奈良県立	6	1
その他国公立大	107	98
国公立大合計	190	151
防衛大学校	2	1
防衛医科大学	1	1
海上保安大学校		1
水産大学校	1	5
国公立+大学校合計	194	159

大学名	2025	2024
関西	121	143
関西学院	183	174
同志社	66	59
立命館	93	96
関関同立合計	463	472
京都産業	111	71
近畿	298	202
甲南	81	54
龍谷	332	170
大阪医科薬科大医学部	1	
早稲田	2	3
慶應義塾	1	1
上智	1	1
東京理科	2	1
明治		2
中央	1	
法政	1	3
立教	2	1
芝浦工	4	

国公立大194人
大学進学が飛躍

高校の大学進学が飛躍的に高くなりました。国公立大と防衛大学校などの4大学の計194人と昨年の159人を大きく上回りました。
京大は1人（昨年2人）でしたが、阪大9人（同2人）、神戸大11人（同6人）、大阪公立大18人（9人）と合格者増となりました。
また北海道大、東北大、東京外大、奈良女子大と進学先が多彩で将来卒業生がいろいろな分野で活躍してくれ

訂正 前号にて、計報の木村博和氏は34期、中山寺の池田光陽氏は中山寺成就院の住職でした。お詫びして訂正します。

計 報	
有地 豊太郎	30期
村田 雅秋	36期
城戸崎 保博	23期
岡室 里士	35期
奥田 泰則	40期
松田 厚子（旧姓和田）	21期
分島 幹夫	23期
巽 賢太郎	82期
池田 光輝（池田輝久）	38期
木村 博和	34期

るでしょう。また関関同立は計463人と昨年の472人を下回ったものの早慶をはじめ上智大や東京理科大、芝浦工大など難関大学を突破しています。これは特進などコース別の教育が浸透したのと「自分の進路を自分で考えて決める」という田中良樹学園長の方針の成果の現れです。

編集後記

学園は創立100周年を迎えました。同窓生の皆さんはそれぞれの時代に学園で人生のひと時を過ごし、忘れられない思い出が心に刻まれているでしょう。◆臥薪嘗胆の末に花を咲かせたアメフト、チア、吹奏楽部は学園の誇りです。◆同窓会たよりをたくさんいただきお礼を申し上げます。

2025年度予算

自 2025年4月1日 ～ 至 2026年3月31日 (単位円)

収入の部	科目	2025年度予算額	2024年度予算額	差異	備考
入会金		4,080,000	9,100,000	△ 5,020,000	約78名、小113名、中57名、高260名 計408名 (内部進学予定者を除く)
年会費		150,000	150,000	0	
終身会費		600,000	510,000	90,000	
受取利息		60,000	123,000	△ 63,000	
寄付金収入		0	0	0	
雑収入		0	0	0	
基金収入		0	8,000,000	△ 8,000,000	
前年度繰越金		14,928,887	2,043,535	12,885,352	
収入計		19,818,887	19,926,535	△ 107,648	

支出の部	科目	2025年度予算額	2024年度予算額	差異	備考
総会事業費		120,000	550,000	△ 430,000	ゴルフコンパ ※100周年記念総会は特別予算として計上
事務局運営費		1,250,000	1,250,000	0	職員給与、同交通費
事務消耗品費		100,000	100,000	0	消耗品、他
旅費交通費		300,000	300,000	0	東京支部出席費、役員会・会計監査出席費、役員会他
什器備品費		50,000	50,000	0	
通信費		2,500,000	2,250,000	250,000	会報発送、プロバイダー代、電話・郵便、事業関連、LINE維持費、他
印刷費		900,000	700,000	200,000	会報印刷、卒業生一覧、メッセージカード、他
課外活動報奨費		1,000,000	1,000,000	0	クラブ活動表彰
渉外費		1,200,000	1,950,000	△ 750,000	同窓会後援金交付、卒業記念品・中・高、クラブ招請、体育大会献金、他
会議費		200,000	200,000	0	高校新幹事委員会・懇親会費、他
図書費		30,000	30,000	0	
支払手数料		70,000	70,000	0	振替・振込手数料、他
雑費		10,000	10,000	0	
租税公課		10,000	10,000	0	
寄付金支出		0	0	0	
基金支出		2,000,000	6,000,000	△ 4,000,000	100周年記念総会費用として
関東支部関連費		300,000	300,000	0	
予備費		1,000,000	1,000,000	0	
次年度繰越金		8,778,887	4,156,535	4,622,352	
支出計		19,818,887	19,926,535	△ 107,648	

2024年度決算

自 2024年4月1日 ～ 至 2025年3月31日 (単位円)

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	差異	備考
入会金	9,100,000	9,120,000	20,000	約83名、小110名、中45名、高774名 合計912名
年会費	150,000	154,000	4,000	
終身会費	510,000	720,000	210,000	
受取利息	123,000	136,378	13,378	
寄付金収入	0	180,214	180,214	組合チャリ基金、北おおさか基金、みなと銀行
雑収入	0	64,760	64,760	懇親会費 他
基金収入	8,000,000	29,929,371	21,929,371	学校債、定期預金
前年度繰越金	2,043,535	2,043,535	0	
	19,926,535	42,348,258	22,421,723	

科目	2024年度予算額	2024年度決算額	差異	備考
総会事業費	550,000	380,786	△ 169,214	同窓生の集い、ゴルフコンパ
事務局運営費	1,250,000	1,180,491	△ 69,509	職員給与、同交通費
事務消耗品費	100,000	55,245	△ 44,755	
旅費交通費	300,000	236,250	△ 63,750	関東支部会費参加、役員会 他
什器備品費	50,000	32,994	△ 17,006	
通信費	2,250,000	1,948,233	△ 301,767	会報送料、電話・通信 他
印刷費	700,000	869,690	169,690	会報印刷、卒業生一覧 他
課外活動報奨費	1,000,000	758,000	△ 242,000	
渉外費	1,950,000	1,376,730	△ 573,270	中高卒業記念品、他・小・中後援、クラブ招請、体育大会献金 他
会議費	200,000	196,653	△ 3,347	高校新幹事委員会・役員会 他
図書費	30,000	3,434	△ 26,566	
支払手数料	70,000	72,367	2,367	振替貯金手数料、振込手数料 他
雑費	10,000	0	△ 10,000	
租税公課	10,000	8,450	△ 1,550	
寄付金支出	0	0	0	
基金支出	6,000,000	20,000,048	14,000,048	定期預金
関東支部関連費	300,000	300,000	0	
予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
次年度繰越金	4,156,535	14,928,887	10,772,352	
	19,926,535	42,348,258	22,421,723	